

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

● : 受講必須

■ : 基礎的な内容

◇ : 受講任意

■ : 応用的な内容も含む

オンラインデマンド講義
視聴時間約3.4時間
※受講必須のみの場合

概要	単元名	視聴時間
災害対応業務全般	1 防災行政概要	● 20分
	2 災害法体系と災害対策基本法の概要	◇ 15分
	3 防災計画の概要	◇ 15分
	4 災害救助法の概要	● 15分
	5 地域の災害特性	● 45分
	6 被害認定調査・罹災証明書の概要	◇ 6分
	7 災害ケースマネジメントの概要	● 15分
	8 避難所の開設・運営の概要	● 15分
	9 多様な主体による避難所運営	● 14分
	10 災害時における男女共同参画の視点からの取組の概要	● 12分
避難所開設・運営	11 避難所運営等 避難生活支援	◇ 30分
	12 避難所運営の実際	◇ 60分
	13 生活再建支援業務	◇ 80分
生活再建支援	14 平時業務を世界標準に即した災害対応業務にどう変換するか	● 30分
	15 指揮系統の現状	◇ 30分
災害対策本部の指揮統制	16 訓練企画運営実践Ⅰ(状況付与型図上訓練)	● 35分
	17 訓練研修の実際	◇ 110分
人材育成		

リアルタイム研修

時間	単元	時間	講師	単元の概要
09:30 ~09:40	- (オリエンテーション)	10分	(事務局)	
09:40 ~10:10	1 【講義+演習】 行政の役割と三者連携の基本	20分	小山 真紀 (岐阜大学)	【演習】次の災害対応経験者による講演をより深く理解し、気づきにつなげるために、講義内容を踏まえて自治体での対応をシミュレーションし、具体的な活動を書き出す。
		10分		【講義】発災から1週間程度の期間に、被災者にどのような困難が発生し、行政としてどのような対応が求められるのかを概説する。
10:10 ~10:20	- (休憩)	10分		
10:20 ~12:00	2 【講演】 災害対応経験から三者連携を学ぶ	100分	講師:三上 豊子(株洲市) 橋本 笠子(NPO法人 ピースワインズ・ジャパン) 進行:小山 真紀(岐阜大学)	被災自治体と支援を行った民間団体スタッフから、発災から72時間以降~1週間程度に直面した避難者・在宅被災者の把握や環境改善対応、実働の困難さ、民間支援団体との連携実例を、体験談を交えて共有する。意見交換と質疑あり。
12:00 ~13:00	- (昼休み)	60分		
13:00 ~15:40	3 【演習】 三者連携による被災者支援 策の検討ワークショップ その2	160分	内閣府派遣講師 講評:小山 真紀 (岐阜大学)	発災から1週間程度の期間の被災者の状況、避難所及び在宅避難者が直面する困難事例をテーマに「どの民間団体を誰が調整して活用するか」「円滑に連携するために行政が何をすべきか」を検討する。
15:40 ~15:50	- (休憩)	10分		
15:50 ~16:40	4 【演習】 全体討論(ふりかえり)	50分	講師:事務局 講評:小山 真紀	研修を通じて学んだことの整理を通じて、各自治体の被災者支援強化のために、今後強化すべき三者連携の取組について共有する。
16:40 ~16:50	- (閉講)	10分	(事務局)	

コーディネーター 岐阜大学
【プロフィール】 小山 真紀 氏
准教授 環境社会共生体研究センター

2015年より現職。専門は防災共創学であり、災害時の人間行動と死傷に関する研究、コミュニケーションや市町村の防災対応など災害サイクル全体を通じた減災に関する研究を続けている。地域防災の取り組み支援のためのオンライン講座「事例に学ぶ災害対策」と「事例に学ぶ災害対策-要支援者対策編」をYouTubeで配信中。内閣府:政府業務継続に関する評価等有識者会議・「防災スペシャリスト養成」企画検討会・南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ・首都圏における広域震災対策検討会・地域防災力の向上を目指すアドバイザリーボード、国土交通省:土砂災害防止対策推進検討会他多数

共催

